

「大規模土砂災害に対する危機管理演習」を実施します

今年は、飛越地震（1858年）から150年の節目となる年です。

当時と同様に、跡津川断層付近を震源とする地震が起こり、常願寺川上流域で同時多発的に山腹崩壊が発生し、河道が閉塞されたとの想定で、北陸地方整備局等の国土交通省関係機関及び富山県、関係する自治体が連携した危機管理演習を行います。

この演習は、大規模土砂災害に対する各機関の防災体制、連絡系統の確立及び防災計画の充実、県民の皆様の防災意識の向上を目的として実施します。

● **日 時** : 平成20年6月1日（日） 8:30～12:20

● **会 場** : メイン会場 — 富山防災センター
サブ会場 — 富山市大山地域市民センター
立山町大森公民館
舟橋村舟橋小学校

● **行 程** : 8:30～ 開会式
9:00～ 防災訓練
12:00～ 閉会式
12:20～ 体験コーナー、炊き出し等

お問い合わせ先

北陸地方整備局立山砂防事務所

調査・品質確保課長 浅井 誠二 Tel. 076-482-1111（代）

富 山 県

砂防課 砂防係長 尾定 琢 Tel. 076-444-3342（直）

富 山 市

防災対策課長 佐近 成昭 Tel. 076-443-2181（直）

立 山 町

総務課長 大江 茂 Tel. 076-462-9964（直）

舟 橋 村

総務課長 高畠 宗明 Tel. 076-464-1121（代）

平成20年度 大規模土砂災害に対する危機管理演習 実施要領

1. 主 旨

安政5年（1858年）2月26日（新暦4月9日）に発生した飛越地震によって、立山カルデラでは大鷲山と小鷲山が崩壊して常願寺川上流の湯川谷を埋め尽くすと同時に多量の雪解け水をため込んだ河道閉塞（以下「天然ダム」という。）が数箇所形成されました。3月10日（新暦4月23日）に再び起こった地震によりその天然ダムが決壊し、土砂流が一気に流れ下り、富山平野の広範囲に被害を与えました。更に4月26日（新暦6月7日）にも大規模な土石流が発生し、富山平野で死者約140名、負傷者約9,000人も及ぶ大災害をもたらしました。

近年、全国各地で地震や異常気象に伴う土砂災害が多発しており、中でも平成16年10月23日に発生した新潟県中越地震では、同時多発的に発生した土砂災害等で情報が錯綜する中、災害の全体像を把握することすら困難な状況に陥るなど、大規模土砂災害に対する危機管理の重要性と困難さを痛感させられることとなりました。

このため、国土交通省では専門家による委員会を立ち上げ、危機管理の現状及び課題の整理と今後の土砂災害に対する危機管理のあり方について提言としてとりまとめました。

提言には、国・県・市町村の役割分担を明確にし、管轄を限定せずに危機管理対策を検討することが掲げられており、直轄区域外を含め大規模土砂災害が発生する危険性のある地域の抽出と災害シナリオの作成及び演習等を行い、現状における防災体制の課題を早急に整理ことが掲げられている。

そこで、平成20年（2008年）は、安政5年の大災害から150年の節目にあたることから、大規模土砂災害を想定した防災訓練を展開し、県民の防災意識の向上に資するとともに、土砂災害に対する各行政機関の防災体制、連絡系統の確立及び防災計画の充実を目的として危機管理演習を実施するものです。

2. 主 催

国土交通省北陸地方整備局、富山県、富山市、立山町、舟橋村

3. 日 時

平成20年6月1日（日） 8：30～12：20

4. 場 所

常願寺川流域 メイン会場：富山防災センター

サブ会場：富山市大山地域市民センター、立山町大森公民館、舟橋村舟橋小学校

5. 訓練概要

1) 訓練想定

跡津川断層付近を震源とするM7.0クラスの地震により、常願寺川上流域及び支川の和田川で同時に山腹崩壊が発生し、複数の天然ダムによる大土石流等が懸念される中で、下流域住民の避難及び応急対策が必要となる状況を想定

2) 訓練項目

- ・ 地震災害に対する住民避難訓練（一次避難）
 - ・ 天然ダムの監視訓練
 - ・ 関係機関及び地域住民への情報伝達訓練
 - ・ 天然ダム決壊を想定した、被害軽減応急対策訓練
 - ・ 天然ダム決壊による被害発生想定地域内の住民避難訓練（二次避難）
 - ・ 避難所開設・運営等の訓練
 - ・ その他必要な訓練
- ※ 危機管理意識向上を目的とした啓発活動（富山防災センターにて体験コーナーの開設等）

6. 参加機関

国土交通省（北陸地方整備局・富山河川国道事務所・立山砂防事務所・北陸技術事務所、富山地方气象台）、富山県、富山市、立山町、舟橋村、富山県警察、(社)日本土木業協会北陸支部、(社)富山県建設業協会、NPO法人富山県砂防ボランティア協会、(社)斜面防災対策技術協会富山県支部、北陸地質調査業協会富山県支部、北陸地方防災エキスパート、立山砂防スペシャルエンジニア

7. タイムスケジュール

7:00	富山防災センター開場	
8:30	集合	
8:30~8:50	開会式	(開会挨拶 土木部長)
8:50~9:00	準備	
9:00	防災訓練開始	富山市⇒大山上滝地区の避難訓練と連動
9:00~9:50	情報収集、1次避難、救援活動	立山町⇒立山町総合防災訓練(大森地区の避難訓練)と連動
9:50~10:00	和田川・七郎天然ダム発見	
10:00~10:40	支援要請、監視・観測、予測	舟橋村⇒竹内・舟橋・仏生寺地区住民の避難訓練と連動
10:40~10:50	第1回河道閉塞対策合同会議 (応急減災対策の検討、二次避難の検討)	
10:50~11:50	避難勧告、緊急対策等の実施	
11:50~12:00	第2回天然ダム対策合同会議	
12:00	防災訓練終了	
12:05~12:20	閉会式	(閉会挨拶 河川部長、立山町長)
12:20~13:00	体験コーナー、炊き出しコーナー	
13:00	解散	